

## はじめに

兵庫県教育委員会では、阪神・淡路大震災の経験と教訓を継承し、全国からいただいた多くのご支援に報いるため、被災した学校を教職員が支援する組織である震災・学校支援チーム（EARTH=Emergency And Rescue Team by school staff in Hyogo）を平成12年4月に設立しました。以来、大規模災害時における学校のあり方を知る全国唯一の組織として幅広く活動してきました。

このハンドブックは、平成18年度に初版を作成し、平成27年度に1度改訂し、今回が2度目の改訂となります。阪神・淡路大震災、東日本大震災、平成28年熊本地震をはじめとする大規模災害等で得られた知識や教訓を踏まえて作成・改訂を重ねたものであり、多くの教職員の様々なお苦勞が今に活かされています。

平成28年熊本地震では、EARTH員が前回改訂版のハンドブックをポケットに入れ、ベテランと若手で班を組んで支援を行いました。阪神・淡路大震災から22年が経過し、震災の記憶と経験の継承が課題となる中、EARTHといえど被災経験や支援活動経験がない者も少なくありません。しかし、派遣先での厳しい現実を目の当たりにして、児童生徒や教職員の力になりたいという気持ちを再確認し、先輩やハンドブックを支えとして重要な使命を果たしてくれました。派遣終了後も、兵庫の子どもたちに充実した防災教育を行ってくださっていることと思います。

EARTHの支援活動は熊本県でも高く評価され、同年10月に発生した鳥取県中部地震では、EARTHとして初めて、熊本県教育委員会と共同で支援を行いました。これまでEARTH員が培ってきた知見が、活動を通して県内外にいっそう浸透することを期待しています。

今後も引き続き、EARTH員をはじめとする学校関係者の皆さんが本書を有効に活用し、被災地の学校への支援活動や地域の防災拠点である学校の防災体制の充実に積極的に取り組むとともに、「兵庫の防災教育」のさらなる充実が図られることを願っています。

平成29年3月

震災・学校支援チーム（EARTH）運営委員会  
会長 高井 芳朗